

エベレスト山を初め、今年6月のマッキンレー山を含めて、五大大陸の最高峰をすべて登頂された田部井淳子さんに今回は、登山の魅力などについて伺いました。

— 初めに、山登りをするようになったきっかけからお話し下さい。

「私は福島県の三春町という緑の豊かな里で育ちました。たまたま、小学校4年生の時に担任の先生に那須につれて行ってもらい、その時はじめて山に登りました。実際に登ってみると、岩や砂の多いのにびっくりしました。山は青いものと思っていましたから、その時から、山を遠く目で見るようになりまして。その頃の私は、スポーツとか競走が苦手な病弱な子供でしたが、山登りは、ヨイ、ドンで競うことがなく、体の弱い子でもがんばれば頂上に辿りつける喜びがあることを知りました。このことが、私の山登りの原点になったように思います」

— 今では、五大大陸の最高峰を征服した登山家として有名ですが。

「私自身は、記録を作ろうと思って登山したことは一度もなく、今回のことも偶然の結果だと思っています。プロの登山家のように思われるのとても恥ずかしい気がします。自分では登山愛好者だと思っています」

「学生の頃からお琴をやっています。塾はスポーツサーに頼らない、自分の登山をする上で重要な資金源ですけれども、教えることはとても楽しいですね。今日も自分で問題を作ってきました」

— 体力的な面でのトレーニングは特別にはされていないとのことですが、食事や栄養面での管理はどうでしょうか。

「それも全くしていません。好き嫌いなく何でも食べています。食事はもちろん自分で作りますし、登山のために配慮することは特にしていません。全くの自然体です」

— 本格的に登山に取り組み始めたのは大学に入られた頃からとのことですが、これまでで一番熱中していらしたのはいつ頃ですか。

「昭和50年のエベレスト登頂で脚光を浴びましたけれど、私自身は、22歳から30歳までの間が一番、夢中になって登山した時期だと思っています。日本中の山を本当によく登りました。この時期に、登山に対する力を培っていたように思いますし、その体験が、後でも役に立っています」

— 今まで数多くの山に登られた訳ですが、どれもどの山が一番印象に残っていますか。

「やはり、エベレストはとても難しい山でした。幸い今回のマッキンレー登山では、すべてのタイミングが合い、登るまでの準備がとてもスムーズにいったので、そういう意味では印象に残っています」



▲「私はあくまで主婦で、登山愛好者」と田部井さん

山登りの楽しさは人と競うことではなく、自分の努力がそのままに実ることです。

たべい じゅんこ 田部井 淳子さん

昭和15年、福島県三春町に生まれる。昭和女子大時代から本格的に登山を始める。昭和44年にアンナプルナⅢ峰、50年にエベレスト山登頂に女性として初めて成功。58年ブータン王国から登山許可の第1号をもらい、未踏峰セブチカンに登頂。今年6月、北米大陸最高峰マッキンレーに登頂し、日本女性として初めて5大陸の最高峰征服を果たした。主婦業のかたわら楽しみながら登山をするママさん登山家。趣味として琴もたしなむ。1男1女。

— 具体的にはどういうことでしょうか。

「今回のマッキンレー行きは、私の場合、長女が修学旅行の為、ふだんのお弁当づくりはないし、同行する友人が6月にちょうど休暇がとれたといったことです。私の場合、大きな目標を発表してスポーツサー付きで登頂するという登山ではありませぬ。日常生活の中でやりくりをして、何とか登るというもので、途中のプロセスから登山になる訳です。そのプロセスがうまくいくかどうかも成功のための一つのカギなのです」

— 本日は、インド、ヒマラヤ出発前という忙しい時期にもかかわらずありがとうございます。特別な方なように思っていました。日常生活の中で、好きな山登りをされている様子がとてもよくわかりました。

田部井さんは、自分が特別視されることを望まず、あくまで主婦であることを主張されます。

「登山は、登りたいという意欲があれば、自分があった登山のやり方があり、山登りの楽しさは自分の努力が実ることによって、人と競うことではない」という持論をお持ちです。昨日も富士山に登ってきたとおっしゃる田部井さんは女性として、また人間として学ぶところがとてもあります。

(7月11日取材・聞き手 吉田朱美)

— それでも田部井さんの登山歴を拝見すると、すごい山を登っているわけですから、やはり、ただ好きだから登るというだけではこれだけの偉業にはつながらないように思います。ふだんは、何か特別にトレーニングをされていますか。

「本当にお恥ずかしいのですが、ほとんど何もしていません。大根を切りながら竹踏みをしたり、お風呂から出た時にストレッチングをしただけの程度で、日常生活の中で気をつけています」

— 日常の家事をきちんとこなすと結構、運動量はあると思いますが、例えば、電車で一駅分歩くとか、特別に階段の昇り降りをするとかはなさっていませんか。

「家事のほかに、英語塾をやっているのが毎日とても忙しく、私にとって時間の節約の方が重要ですから、そういう努力もしていません。一度、万歩計をつけて一日の歩行距離を計ってみました、10km分ぐらい動いていました」

— お話を伺っていると、日常は、普通の主婦で、塾の先生もしていることがちょっと他の人より忙しいという感じですね。

「私は、山登りを日常からかけ離れた特別なものとは考えていません。基本は家庭の主婦であって、趣味の一つとしてやっているつもりです」

— 他にも何か趣味がありますか。

美しい髪のために **VINAR 16**

●わずか5分で、きれいなカール思いのまま。
●蒸気のほしさで、髪もイキイキ。
●水素結合だから、スムーズにしっかりカール。
●すぐにプロ気分、自由自在にヘアメイク。

ヘアメイクを科学しました。

●セット内容：カーラー16本(大4本・中8本・小4本) スターター1台(ストッパー16本 シングルピン4本、ヘアスタイル集、ケラリングケース入り) 定価13,500円
全国の美容室・デパート、バラエティストアでお求めください。

総販売元 **滝川株式会社**
〒111 東京都台東区元芝草3-2-1 TEL 03(845)2111(大代表)

